

# Infrastructure Investor Network Tokyo Forum 2026

2026年6月4日(木) | 会場: マンダリン オリエンタル 東京  
(日本時間) 英語/日本語の日英同時通訳あり

08:00 ブレックファスト・ブリーフィング: 商業用不動産 (CRE) におけるネイティブ AI  
— 実用化への転換点【PERE Tokyo との同時開催】  
講演者: Robin Langdon 氏 (Field CTO, APAC, 5th Dimension)

08:30 受付開始・ネットワーキング

09:00 PEI および議長による開会のご挨拶【英語】

講演者: Nicholas Lockley 氏 (Global Head of Events, PEI Group)

09:10 基調講演【日本語】 講演者: 鬼塚 貴子, 環境金融室長,  
経済産業省 (METI)

09:30 基調パネル: 脱グローバル化が進む世界におけるインフラ投資の機会【英語】

- ・ リショアリング (生産・供給網の国内回帰) の恩恵を受けるのはどの市場か (欧州/アジア)、また構造的に不利な立場にあるのはどの市場か
- ・ 投資家は地政学リスクと規制リスクをどのように再考すべきか
- ・ デジタル化と脱炭素化のテーマは今後も主流であり続けるのか、投資家が注目すべき新たなトレンドとは何か

モデレーター: Philippe Wind 氏 (Operating Partner, La Caisse)

登壇者:

Marta Perez 氏 (CIO Infrastructure, Allianz Global Investors)

Guillaume Friedel 氏 (Senior Partner and co-Head of New York Office,  
Antin Infrastructure Partners)

Danny Latham 氏 (Partner, Igneo Infrastructure Partners)

Chenhua Shen 氏 (Partner, I Squared)

Christoph Stagl 氏 (Investment Director & Partner, Vauban Infrastructure Partners)

10:20 休憩

10:50 パネル: 未来のインフラを支える電力インフラ【英語】

- ・ 電力ネットワークの近代化: 投資家は長期的な信頼性 (安定供給) を確保するために、送配電システムをどのように強化・近代化しているのか
- ・ AI を支えるエネルギー: グローバルなデータセンター拡張に伴う膨大な電力需要を支えるために、どのような投資戦略が生まれているのか
- ・ 電力ミックスのバランス: 再生可能エネルギー、原子力、送電網のアップグレード、蓄電ソリューションは、次世代のエネルギーインフラをどのように形作っていくのか  
モデレーター: Yuri Humber 氏 (President, Yuri Group)



登壇者：

Devarshi Das 氏 (Managing Director, Head of Asia Pacific Equity, ICG)

Karthikeyan M 氏 (Partner, NIIF)

Joost Bergsma 氏 (Global Head of Clean Energy, Nuveen Infrastructure)

Ryan Chua 氏 (Senior Managing Director, Stonepeak)

#### 11:40 プレゼンテーション【英語】

講演者：Justin Chang 氏 (Senior Managing Director, Head of Asia, DigitalBridge Investment Management)

#### 12:00 昼食&ネットワーキング

#### 13:00 パネル：コアプラスへのシフト：リスク、価値創造、安定性の再考、リスクカーブ上昇の原動力とは【英語】

- リスクカーブ上昇の原動力となっているものは何か
- 投資家はバリュー型のリスクを取ることなく、どのように二桁のリターンを達成できるのか
- コアプラスとは、リスクを意味するのか、リターンを意味するのか、あるいはその両方なのか

モデレーター：江尻 達郎, シニア・ヴァイス・プレジデント, アクシア・ジャパン登壇者

Serkan Bahceci 氏 (Partner & Head of Research, Arjun Infrastructure Partners)

Alistair Ray 氏 (CIO, Dalmore Capital)

Philip Kent 氏 (CEO, Gravis)

Jeff Pentland 氏 (Managing Director, Northleaf Capital Partners)

Roger Lloyd 氏 (Chairman, Palisade Investment Partners)

#### 13:45 プレゼンテーション：アルファの測定と市場アウトパフォーマンスに基づくファンド選定【英語】

登壇者：Lorenzo Menichino 氏 (Director - Business Development, Scientific Infra & Private Assets (SIPA))

#### 14:05 パネル：日本の LP によるデジタルインフラ戦略：アロケーション、リスク、価値創造【英語】

- 現在、最も魅力的なリスク・リターンを提供している国または分野（データセンター、光ファイバー、タワーなど）か
- デジタルインフラ資産の開発における最大の障害は何か、またそれらをどのように軽減するか
- この分野への投資は、単一資産投資からプラットフォーム投資へと移行する中で、どのように進化してきたのか

モデレーター：Ari Druker 氏 (Senior Advisor, Copenhagen Infrastructure Partners)

登壇者：

Douglas Song 氏 (Principal, APAC Investment, Digital Infrastructure, and Head of Japan Data)



Center Fund, **Ares Management**)  
Rajiv Khakhar 氏 (Executive Director, **Morrison**)  
Josh Oboler 氏 (Partner, **Palistar Capital**)  
Matthias Vukovich 氏 (Partner, **Seraya Partners**)

#### 14:50 休憩

#### 15:20 パネル：輸送インフラの復活：メガトレンドの活用【英語】

- 輸送分野における実行可能なパイプラインはどこにあるのか（高速鉄道、貨物輸送回廊、港湾・物流ハブ、EV 充電ネットワーク、自動運転インフラ）
- 脱炭素化、デジタル化、サプライチェーンのレジリエンス、そしてそれらが輸送インフラの再構築に与える影響
- 輸送におけるリスク・リターン特性の理解：長期キャッシュフロー、インフレ連動性、規制リスク
- 既存資産の更新サイクルと次世代資産への投資機会：フローティング・データセンター、防衛関連物流

モデレーター：Tom Taylor 氏 (Reporter, **Infrastructure Investor**)

登壇者：

Rob Gregor 氏 (Senior Partner, **Basalt Infrastructure Partners**)  
Nick Gibson 氏 (President, Asia Pacific, **Glydways**)  
Anurag Agarwal 氏 (Managing Director, Head of Portfolio Management, Global Transportation Group, **J.P. Morgan Asset Management**)  
小島 徳士, マネージング・ディレクター, **OMERS インフラストラクチャー**  
Carl Elia 氏 (Vice President & Director, Global Infrastructure Investments, **TD Asset Management**)

#### 16:10 パネル：コアからトランジション戦略へ：日本の機関投資家の次の動き【日本語】

- グローバル・アロケーション戦略：現在のマクロ経済環境において、日本の LP（リミテッド・パートナー）は海外投資をどのように考えているのか
- ポートフォリオ構築：コアとコアプラスは依然として中心だが、日本の投資家はエネルギー転換やデジタルインフラといったバリューアッド戦略やテーマ型戦略への投資拡大にどの程度積極的か
- リスク管理：LP はテクノロジーの破壊的変化や地政学的リスクをシナリオプランニングにどのように組み込んでいるのか

モデレーター：小泉 貴子, マネージングディレクター,

グローバル・クライアント・サービス, **EQT パートナーズジャパン** 登壇者：  
発知 孝介, インベストメント・オフィサー, 大同生命保険  
松永 健一郎, 専門役, ゆうちょ銀行  
佐藤 昌道, インフラストラクチャー投資担当 担当部長, かんぽ生命  
米沢 純一, 運用部 部長, **オルタナティブグループ**, 農林中金全共連アセットマネジメント

高 成邦, プライベート・アセット運用部 インベストメントチーム シニアディレクター,  
オリックス生命保険

17:05 1 日目終了のご挨拶・カクテルレセプション 2026年6月5日(木) | 会場: マンダリン  
オリエンタル 東京

(日本時間)

英語/日本語の日英同時通訳あり

08:00 投資家限定ブレックファスト・ブリーフィング: 実物資産編 [英語]

- 毎年恒例のセッションとして、日本の機関投資家の皆様を対象に、実物資産市場の現状について率直に意見交換いただくクローズド形式の少人数ディスカッション。
- データに基づき、参加者の皆様が抱える課題、現在の市場センチメント、そして今後1年の投資優先事項について率直に議論します。
- 今年は、不動産およびインフラ投資家の皆様が一堂に会し、それぞれの視点を比較しながら、現在最も注目しているテーマについて意見交換を行います。

登壇者:

Ethan Koh 氏 (Head of Global Research Operations, PEI Group)

Andrew Rodriguez 氏 (Senior Research Associate, PEI Group)

※機関投資家限定セッションです。参加をご希望の方は、宮崎 瑛美  
(emi.miyazaki@pei.group) までご連絡ください。

08:30 受付・ネットワーキング

09:05 PEI による開会のご挨拶

講演者: Andrew Wolff 氏 (Head of APAC Events, PEI Group)

09:10 基調講演【日本語】

講演者: 田中 麻理, データ分析チーム 企画役・オルタナティブ投資部、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)

09:30 基調パネルディスカッション: 実物資産と実物資産投資戦略の融合の進展【英語・日本語】

- 融合のトレンド: 電力網、データセンター、光ファイバーネットワーク、物流資産の相互依存性の高まり、そして投資家がこれらを統合されたエコシステムの一部として評価すべき理由
- 主要な LP と GP が、エネルギーアクセス、デジタル容量、物理的流通の優位性を組み合わせたマルチアセット運用プラットフォームへと移行している理由
- 融合の進展を踏まえ、GP は実物資産チームと戦略のリソース配分と再編をどのように行っているのか モデレーター: 濱 康彦, マネージングディレクター, クロスポイント・アドバイザーズ 登壇者:

Dr. Peter Hobbs 氏 (Managing Director, bfinance)

Michael Turner 氏 (Managing Director, Investments, CIM Group)

) 林 健太郎, マネージングディレクター, DBJ アセットマネジメント

弓野恵吾, シニアマネージャー, 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

10:20 休憩

	ストリーム A インフラ投資の徹底分析	ストリーム B 実物資産とプライベート市場への投資入門
10:50	<p>パネル：エネルギー貯蔵に焦点を当てる【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ どのような新しい蓄電技術が登場しているのか、また、LP はそのリスク・リターンや拡張性をどのように評価すべきなのか</li><li>・ 投資家は、この分野におけるマーチャントリスク、キャッシュフローの安定性、その他の課題にどのようにうまく対処しているのか</li><li>・ 投資家は、直接投資、共同投資、ファンド、プロジェクトプラットフォームなど、蓄電関連事業への投資をどのように位置付けるべきか。また、それをより広範なインフラやエネルギー転換ポートフォリオとどのように統合すべきか</li></ul> <p>モデレーター：Alex Bebov 氏 (Director, BAC)</p> <p>登壇者：Srini Viswanathan 氏 (Founder &amp; CEO, AltEons Energy)</p> <p>Dean Cooper 氏 (COO, Brawn Energy)</p> <p>Laurent Chatelin 氏 (Managing Partner - Co-Head Infrastructure, Eurazeo)</p> <p>Alex O' Cinneide 氏 (CEO, Gore Street Capital)</p> <p>Michael Butler 氏 (Managing Partner - Japan, Tag Energy)</p>	<p>パネル：プライベート市場におけるインフラと不動産 — ポートフォリオにおける役割の理解【英語・日本語】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ LP は、収益の安定性、インフレ連動性、分散投資、長期的な資本保全を実現する上で、不動産とインフラの役割をどのように区別すべきか</li><li>・ 日本の LP が、強靱な実物資産ポートフォリオを構築する際に留意すべき最も重要な課題は何であるか</li><li>・ インフラと不動産は、金利サイクル、インフレ環境、景気減速局面においてどのように推移し、どのような点で真に相互補完的な役割を果たすのか。</li></ul> <p>モデレーター：Kallan Resnick 氏 (Partner, PJT Park Hill)</p> <p>中村 博信, 代表取締役社長, カナディアン・ソーラー・アセットマネジメント</p> <p>登壇者：竹内 丈二, エグゼクティブマネジャー, アセットマネジメント One</p> <p>水垣 寛人, シニアマネージャー, 東京海上アセットマネジメント</p>

5 分間の休憩

11:35	<p>パネル：プライベートクレジット台頭時代のインフラデット【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡大するプライベートクレジット市場において、インフラデットはどのような役割を果たすのか</li> <li>・ それは、インフラエクイティにどのような影響を与えるのか。デットの AUM（運用資産残高）はエクイティを上回るようになるのか</li> <li>・ プライベートクレジット市場の成長を加速させている資産担保融資の 拡</li> </ul>	<p>パネル：プライベートマーケット投資の種類：オープンエンド型ファンドとクローズドエンド型ファンド【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストラクチャーによる投資効果の理解：オープンエンド型ファンドとクローズドエンド型ファンドの選択が、実物資産ポートフォリオのリターンプロファイル、投資ペース、流動性、手数料、ガバナンスにどのような影響を与えるか</li> </ul>
-------	--	---

	<p>大はどのような影響をもたらしているのか</p> <p>モデレーター：Daniel Kemp 氏 (APAC Editor, PEI Group)</p> <p>登壇者：木村 佑, 執行役員インフラ投資本部長, DBJ アセットマネジメント三澤昌司 (マネージングディレクター, オリックス銀行)</p> <p>Marat Zapparov 氏 (CEO, Pentagreen Capital)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資期間と投資目的の整合：安定的な収益、インフレヘッジ、プラットフォームの成長、価値創造、トランジション／開発案件へのエクスポージャーといった投資目的とファンドストラクチャーを、どのように整合させるべきか</li> <li>・ リスク管理と目標との整合性：両ストラクチャーにおけるパフォーマンスの透明性、評価方法、償還管理、共同投資へのアクセスをどのように評価するか</li> </ul> <p>モデレーター：岩瀬 さや佳, ファイブアローズマネジャーズ S.A., ロスチャイルド・アンド・コー 東京支店長</p> <p>登壇者：Nicholas Riordan 氏 (Senior Director, Infrastructure Solutions, CBRE Investment) 小野 泰宏, 最高経営責任者, ディープストーン・パートナーズ 永田 明史, オルタナティブ&amp;ファンド投資部門 ゼネラルマネージャー, ニッセイアセットマネジメント株式会社</p> <p>Len Umantz 氏 (Head of External Manager Research, Rogers Investment Advisors)</p>
--	--	---

5 分間の休憩



<p>12:15</p>	<p>パネル：日本のインフラ市場の未来 【英語・日本語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池の役割：日本最大のインフラ投資機会となるか</li> <li>企業、GP および機関投資家はプラットフォームモデルにおいてどのように連携しているのか</li> <li>日本のエネルギー転換目標、送電網の制約、電化の進展は、再生可能エネルギー、運輸、社会インフラにおける投資優先順位をどのように変えているのか</li> </ul> <p>モデレーター：Dan Shulman 氏 (Chief Executive Officer, Shulman Advisory)</p> <p>登壇者：中嶋 秀夫 (レオ), 代表取締役副社長, 大和エナジー・インフラ株式会社 シャー (渡邊) 優子, 会長, ヘキサ・エネルギーサービス合同会社</p> <p>Virginie Sandilya 氏 (Director, Shizen Energy)</p> <p>岡村 研二郎, 最高投資責任者, ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー (JEXI)</p>	<p>パネル：日本のプライベート市場における若手人材の採用【日本語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LP と GP は現在、どのように、そしてどこから若手人材を発掘しているのか。従来の採用ルートはどのように変化したのか</li> <li>この市場を形成する日本特有の障壁や機会とは何か</li> <li>プライベート市場における効果的な若手育成とはどのようなものかモデレーター：千葉 彩耶, ファンド・プレイスマント, Astris Advisory</li> </ul> <p>登壇者：末崎 桂, 資産運用部 資産運用チーム マネージャー, アクサ生命保険 櫻井 克史, プリンシパル, ハミルトン・レーン 秦 由佳, シニア・マネージング・ディレクター, 株式会社産業革新投資機構 (JIC)</p>
--------------	--	--

### 13:00 昼食&ネットワーキング

### 13:30 不動産業界における女性ネットワーキングイベント (PERE 東京フォーラムと共催)

### 14:05 基調パネル - 障壁を越え、未来へつなぐ：リーダーへの道を再考する【英語】

- 真の進歩を推進する：日本の実物資産セクターで女性管理職比率を高めるために、何を変える必要があるのか
  - 政策から成果へ：実際に効果を発揮する構造改革とはどのようなものか。また、目に見える進歩を実証した事例研究とはどのようなものか
  - 日本市場とグローバル市場：どのような国際的なベストプラクティスを効果的に導入できるのか、またどのような分野で日本固有のソリューションが必要となるのか
- モデレーター：シャー (渡邊) 優子, 会長, ヘキサ・エネルギーサービス合同会社

Ruiqin Wu 氏 (MBA Candidate, Fuqua School of Business, Duke University)

藤井 夕貴子, インフラアジア・大洋州サービス事業部長 (電力・インフラ戦略投資事業部長), 丸紅株式会社

景山 綾子, 責任投資部門 イノベーティブ・サステイナブル・ファイナンス責任者, 日本生命保険相互会社

Hyun Hong 氏 (CEO, Terminal X)

Eriko Sakata 氏 ( Partner, **White and Case** )

15:30 フォーラム終了